

この度はお買い上げ頂き、誠に有難う御座います。お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使い頂くために、この取扱説明書をよくお読み下さい。

照明機器の工事に関しては、電気工事の有資格者の施工管理が義務付けられています。  
工事が終了しましたら、この取扱説明書は必ずお客様へお渡し下さい。

## 安全に関する注意

**⚠ 警告** 取扱いを誤ると、人が死亡または重傷を負う危険が想定されます。

- 施工は、取付方法に従い確実に行ってください。  
施工に不備があると落下、感電、火災の原因となります。
- 表示された電源電圧（定格電圧 ±6%）・周波数以外の電源で使用しないで下さい。感電、火災の原因となります。
- ランプを分解・改造したり、部品を変更して使用することはおやめください。落下、感電、火災の原因となります。
- ランプが破損した状態で使用しないで下さい。落下、感電、火災の原因となります。
- 電源線接続は確実に行って下さい。発熱、火災の原因となります。

**⚠ 注意** 取扱いを誤ると人が負傷するか、財産に損害が生じる危険が想定されます。

- 本製品はランプに直接に商用電圧を印加するタイプです。蛍光灯の安定器や LED 用の電源をご使用にならないでください。
- 電線の接続については、裏面の施工方法に従い確実に行ってください。
- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動のある場所、雨の吹き込みを受ける場所、粉塵の多い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。落下、感電、火災の原因となります。
- 蛍光灯から REALCOMPACT に付け替える際、ブレーカーの交換が必要な場合が御座います。予めご了承ください。
- 必ず適合した専用器具で指定ワット数のランプをご使用ください。落下、感電、火災の原因となります。
- ランプはソケットに確実に取り付けてください。落下の原因になります。
- ものを当てたりして傷をつけないでください。故障、感電、火災の原因になります。
- 点灯中や消灯後しばらくは熱いので触れないでください。やけどの原因になります。
- FHT、FDL 形蛍光灯器具そのままの状態では使用できません。裏面の改造工事が必要です。
- 人感スイッチ等自動点灯装置や遅れ停止スイッチなどには使用できない場合があります。
- 器具周囲温度は -10 ~ +40°C の範囲で使用ください。

## お手入れ時の注意

- 清掃する場合は柔らかい布をぬるま湯または中性洗剤につけ、よく絞ってからふき取ってください。  
(洗剤などを使用した場合は洗剤が残らないようにしてください)  
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤、みがき粉、たわし、熱湯などは使用しないでください。

株式会社オプティプラス

〒110-0016

東京都台東区台東 4 丁目 18 番 7 号

シモジンビルディング 8 階

お問い合わせ先

**TEL:03-5812-3566**

受付時間：10:00 ~ 18:00

(土・日・祝日・年末年始・夏季休業期間・会社都合による休日を除く。)

**施工方法 蛍光灯器具を改造する場合**

- ①電源が off になっているのを確認した上で、FHP,FPL 蛍光灯を外してください。
- ②既設の安定器の 1 次側線と 2 次側線を切断します ( 図 1 )。  
蛍光灯用安定器を取り外せる場合には外します。外せない場合には切断した線を末端処理します。
- ③ランプの口金ピン及び、ソケットの差し込み穴はそれぞれ 4 か所あります。改造後はソケットのリード線は 2 本のみ使用します ( 図 3 )。不要配線はショートしないよう絶縁処理してください。
- ④照明器具端子台とランプのソケットを結線します ( 図 2 )。  
結線が不確実の場合、接触不良による発熱、火災、感電の恐れがあります。
- ⑤多灯用の器具を改造する場合はランプを並列に結線ください ( 図 4 )。
- ⑥ランプ設置後はランプの位置を正常に保持するために付属のランプ固定フックを取り付けてください ( 図 5 )。

図 1

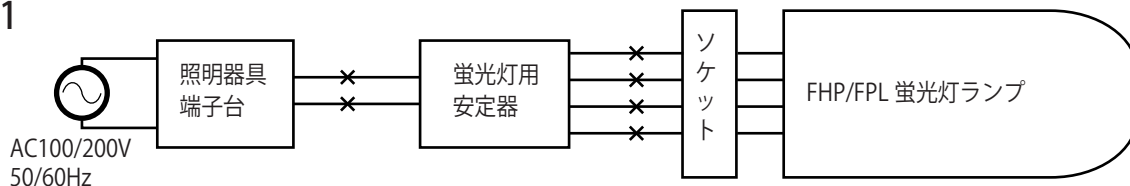


図 2

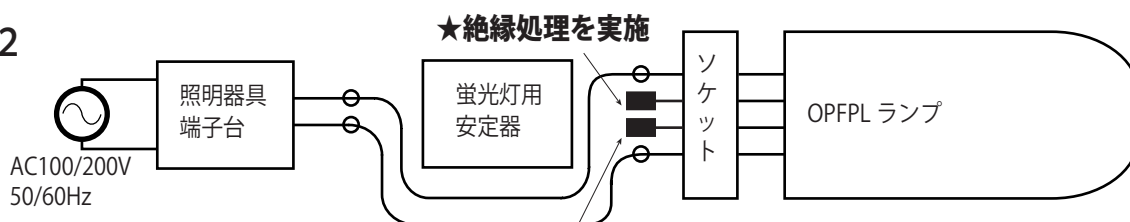
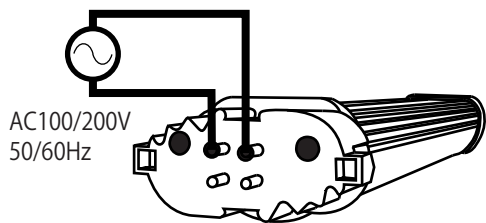
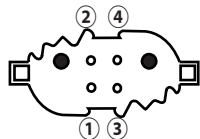


図 3 電線とソケットの結線

FHP/FPL タイプ (GY10q)



注意：ピン①と②、ピン③と④はランプ内で短絡しています。  
①と②の結線、③と④の結線はしないように注意願います。



★絶縁処理を実施

図 4 多灯の場合の結線

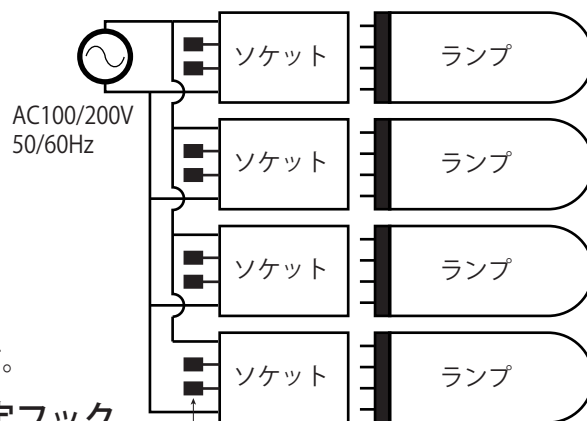


図 5 ランプ固定フック



★絶縁処理を実施

図 6 LED 器具表示シール

**工事完了後の器具への表示**

改造後の照明器具には図 6 の LED 器具表示シールを貼り付けてください。

**※注意**

この照明器具は LED ランプ用に内部配線が変更されています。一般の蛍光灯や (株) オプティプラス製以外の LED ランプは、絶対に取り付けしないでください。破損や感電など事故の原因となります。

工事日： \_\_\_\_\_

工事者名： \_\_\_\_\_